

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330521130A	エクスターン I (幼) Externship Program I	永津利衣			1	選択	2前期
<b>科目の概要</b>							
<p>エクスターン I 幼児教育コースは、愛知学泉大学附属桜井幼稚園、愛知学泉大学附属幼稚園、愛知学泉短期大学附属幼稚園の3園いずれかに出向いて、保育インターンシップを行う。保育に関する科目で獲得した知識・技能を活用し、実際の保育現場において体験を積むプログラムである。「保育実習 I」の前に、実践的な活動とその振り返りを通して、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる人材、現代の子育てや教育における専門的な知識と技能を身に付け、課題解決に向けて、自立した社会人として自らの可能性を高め、社会に貢献できる人材の育成をめざす (DP①②③)。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① 附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加する。 ② 保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化する。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深める。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にする。</p>				<p>① 附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。 ② 保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化することができる。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解をすることができる。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にすることができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	活動記録、発表準備などにおける課題について積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：なし							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「エクスターン I (幼)」は、学科専門科目群の実習領域に据えられており、「保育実習指導」「保育実習」「施設実習」、さらに「教育実習指導 (幼)」「教育実習 (幼)」へと継続するための基礎的な学外実習科目である							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
附属幼稚園に出向いての活動のため、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、附属幼稚のご協力により受入れていただいていることを念頭におき、途中で投げ出すことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。				<ul style="list-style-type: none"> <li>活動先でのルールは遵守すること。</li> <li>提出物の期限を必ず守ること。</li> </ul>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
			④			
レポート	80	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属園の概要、保育インターンシップの目標などを書いて提出する。</li> <li>・活動記録が丁寧に活動が書かれている。</li> <li>・活動記録に、次の観点の記録と振り返りが適宜なされている。（様式に沿った記録（時間と環境構成、子どもの活動・姿、保育者の援助・配慮、特に、実習生の動きと気づき欄の充実）、設定した目標に対する振り返り、子ども理解や保育に関すること、次回への課題）</li> </ul>	
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育インターンシップの報告（ポスターまたはPowerPoint）に、活動を通しての学び、目指す保育士像や保育実習等に向けての課題がまとめられている。</li> </ul>	
		②				
		③				
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）活動記録、発表準備における課題について積極的に取り組むことができる。</li> <li>（実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。</li> <li>（課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。</li> <li>（創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。</li> <li>（発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。</li> <li>（傾聴力）グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。</li> <li>（規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。</li> </ul>
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に積極的に参加することができる。</p> <p>保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化し、保育実習等を楽しみにすることができる。</p> <p>保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解を深めることができる。</p> <p>活動の振り返りを行い、指導に対して丁寧に修正ができ、保育の魅力、自己課題を具体的にイメージして明確にもつことができる。</p> <p>A(優)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に前向きに参加することができる。</p> <p>保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化し、保育実習等の心構えができる。</p> <p>保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解ができる。</p> <p>活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題を明確にもつことができる。</p>	<p>B(良)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。</p> <p>保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化できる。</p> <p>保育実践、活動記録を通して子ども理解ができる。</p> <p>活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p> <p>C(可)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に最後まで参加することができる。</p> <p>保育インターンシップを通して実習のイメージをもつことができる。</p> <p>保育実践、活動記録を通して子どもの姿が捉えられる。</p> <p>活動の振り返りを行い、指導に対して理解ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～4	【学内】 「事前オリエンテーション」 ・実習目標、活動準備について理解し、準備をする。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・保育インターンシップに向けての準備をすることができる。	(予習) 附属幼稚園について調べる。 (復習) 絵本、手遊びなどの実践準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5～12	【学外】 保育インターンシップ(附属3園) ・観察・参加などの実習を行う。 ・活動記録の作成を行い、活動内容を理解し、振り返りを行う。	実習, 日誌添削(フィードバック)	・参加実習、観察実習などを行うことができる。 ・活動記録の作成を行い、活動内容を理解し、振り返りを行うことができる。	(予習) 次の活動内容を把握し、実践準備(練習)を行う。 (復習) 活動記録の作成を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13～15	【学内】 活動報告の準備と発表 ・保育インターンシップの成果を発表する。	演習 成果発表 google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・活動を振り返り、発表することができる。	(予習) 発表資料を作り、発表準備を行う。 (復習) 他者の活動報告からの学びをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330521130B	エクスターン I (小)	宮武里衣・中野真悟			1	選択	2前期
<b>科目の概要</b>							
こどもの生活学科の目標である「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材」となる「よき教育者の育成」及びDP1に記載してある建学の精神と社会人基礎力、DP2の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能を修得した教師の育成を目指して行う。またDP3に関わって「教育職としての専門性を高めるために、実践的な活動を通して様々な体験を積むプログラムとなっている。本科目では大学近隣の提携小学校へ教育ボランティアとして出向き、現場体験を積むことが主な内容である。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 進路を明確にする。 ② 実践活動のための目標を考える。 ③ 実践活動のための計画を立てる。 ④ 実践活動の振り返りを行う。				① 学校の教育活動についての知識を修得し、自身の進路を具体的にイメージすることができる。 ② 実践活動のための目標を活動場面に合わせて設定できる。 ③ 実践活動のための計画を、実際の活動場面に即して立案できる。 ④ 実践活動を振り返り、より良き実践を行うための課題解決の方法を具体的に述べるができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	実践活動で成果を上げるために、計画にそった行動をとることができる。					
考え抜く力	課題発見力	教育や保育の現場に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。					
	計画力						
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。					
チームで働く力	発信力	実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文字にして記述することができる。					
	傾聴力	他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：使用せず							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連： 小学校教員免許状取得に必要な「介護等体験実習」など各種実習の前段階として、教師等の補助的役割を通し子どもとの関わりの実際を体験していく。本授業は、その後に履修する「エクスターンII」や以後の教職関係の科目や免許状取得に必要な実習へと繋がっていく。 資格との関連：小学校教諭							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
教育現場に出向いての活動なので、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、途中で投げ出すと協力していただいている学校に多大なご迷惑をおかけすることになるので、そのようなことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。				<ul style="list-style-type: none"> <li>活動先でのルールは絶対遵守すること。</li> <li>活動報告を毎回提出すること。</li> </ul>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		70	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			20	①	✓		
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>学外活動の意義を理解し、自分を磨く意識を持って積極的に活動し、現場の理解を深めることができた。</li> <li>計画・企画を進んで行うことができ、実践に生かすことができた。</li> <li>上記2点において、秀でた活動を行った場合にはS(秀)評価とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のすべき行動を理解して、活動を行うことができた。</li> <li>活動計画や活動のための提案することができた。</li> <li>与えられた任務を問題なくこなすことができた。</li> <li>活動実施や提案、任務遂行等で上記の内容まで到達していない、又は提出物の遅れC(可)とする。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	【初等教育コース】 ・エクスターンシップ 実習の意義を学ぶ。 ・ボランティア先の小学校について調べる。	1. 講義：学校という教育現場 2. 演習、発表：本授業の受講動機や教職志望の理由、本授業で学びたいことの発表。	実習校の情報を収集し、目的を明らかにすることができる。	(予習) 希望する活動を確認する。  (復習) 活動報告を作成し、口頭で担当教員に伝える準備をする。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校について調べる。	1. 講義：学校における教育活動 2. 演習、発表：エクスターンシップ実習の目標、計画を立案し発表。	活動場所の情報を収集し、事前オリエンテーションに向く準備をすることができる。	(予習) 実習校の位置や教育環境を調べる。  (復習) 調査票をまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、打ち合わせをする。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 講義・演習：実習校の実際、実習に当たっての留意事項の講話。校舎見学、授業参観。	事前オリエンテーションの調整をし、活動場所での留意事項がまとめられる。	(予習) 実習校の位置や教育環境を調べる。  (復習) 活動計画を立てる。 (googlclassroomドキュメント提出)	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
4	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ①。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間以外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ②。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間以外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ③。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間以外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ④。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間以外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑤。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑥。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習） 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  （復習） 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑦。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習） 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  （復習） 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑧。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習） 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  （復習） 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
12	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑨。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習） 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  （復習） 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 状況把握力
13	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する ⑩。 (中野1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習） 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  （復習） 活動報告をPPにまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
14	・活動報告書のまとめをする。	1. 発表：エクスターンシップ実習先の小学校での活動内容をPPを用いての発表。 2. 演習：実習を通して考えたことや感じたこと、今後教職を目指すに当たっての決意をまとめ、Google Classroomで提出。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理することができる。	（予習） 活動報告の発表準備をする。  （復習） クライメイトの発表を振り返る。	180	主体性 実行力 規律性
15	・前時の発表をビデオで見て、活動から感じたことをまとめ、将来の夢につながる事柄を見出す。	・クラスルームに挙げたビデオの視聴。 ・ビデオについての意見の記入。 ・クラスルームへの意見の提出。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理し、自身の将来の進路の方針を立てることができる。	（予習） 活動報告書の整理をする。 （復習） 活動報告書及び他者の発表内容をまとめる。 (googlclassroomドキュメント提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522131A	エクスターンⅡ(幼) Externship Program Ⅱ	永津利衣		専門	1	選択	3後期
<b>科目の概要</b>							
<p>エクスターンⅡ幼児教育コースは、愛知学泉大学附属桜井幼稚園、愛知学泉大学附属幼稚園、愛知学泉短期大学附属幼稚園の3園いずれかに向いて、保育インターンシップを行う。保育に関する科目で獲得した知識・技能を活用し、実際の保育現場において体験を積むプログラムである。「保育実習Ⅰ」の前に、実践的な活動とその振り返りを通して、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる人材、現代の子育てや教育における専門的な知識と技能を身に付け、課題解決に向けて、自立した社会人として自らの可能性を高め、社会に貢献できる人材の育成をめざす(DP①②③)。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① 附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加する。 ② 保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化する。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深める。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にする。</p>				<p>① 附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。 ② 保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化することができる。 ③ 保育実践、活動記録を通して子ども理解を深めることができる。 ④ 活動の振り返りを行い、保育の魅力、自己課題を明確にすることができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	活動記録、発表準備等における課題について積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定観念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	人の意見をうなづきながら聞き、思いを受け止めて、その上で自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業ルール(学修態度、課題の期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：なし							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「エクスターンⅡ(幼)」は、学科専門科目群の実習領域に据えられており、「保育実習指導」「保育実習」「施設実習」、さらに「教育実習指導(幼)」「教育実習(幼)」へと継続するための基礎的な学外実習科目である							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
附属幼稚園に向いての活動のため、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、附属幼稚のご協力により受入れていただいていることを念頭におき、途中で投げ出すことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。				<ul style="list-style-type: none"> <li>活動先でのルールは遵守すること。</li> <li>提出物の期限を必ず守ること。</li> </ul>			



【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
	レポート	80	①	✓	
			②	✓	
③			✓		
④			✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）活動記録、発表準備等における課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力）グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、その上で自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に積極的に参加することができる。                      保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化し、保育実習等を楽しみにすることができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解を深めることができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して丁寧な修正ができ、保育の魅力、自己課題を具体的にイメージして明確にもつことができる。</p> <p>A(優)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に前向きに参加することができる。                      保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化し、保育実習等の心構えができる。                      保育実践、活動記録を通して具体的な子どもの姿を捉え、子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題を明確にもつことができる。</p>	<p>B(良)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に参加することができる。                      保育インターンシップを通して実習のイメージを具体化できる。                      保育実践、活動記録を通して子ども理解ができる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して修正ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p> <p>C(可)</p> <p>附属幼稚園の教育目標、特色を理解して活動に最後まで参加することができる。                      保育インターンシップを通して実習のイメージをもつことができる。                      保育実践、活動記録を通して子どもの姿が捉えられる。                      活動の振り返りを行い、指導に対して理解ができ、保育の魅力、自己課題をもつことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～4	【学内】「事前オリエンテーション」 ・実習内容について理解し、実習目標を立て、活動準備をする。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・保育インターンシップに向けての準備をすることができる。	(予習)附属幼稚園について調べる。 (復習)絵本、手遊びなどの実践準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5～12	【学外】 保育インターンシップ(附属3園) ・観察実習、参加実習などを行う。 ・活動記録の作成を行い、活動内容を理解し、振り返りを行う。	実習	・観察実習、参加実習などを行うことができる。 ・活動記録の作成を行い、活動内容を理解し、振り返りを行うことができる。	(予習)次の活動内容を把握し、実践準備(練習)を行う。 (復習)活動記録の作成を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13～15	【学内】 活動報告の準備と発表 ・保育インターンシップの成果を発表する。	演習 グループワーク、成果発表 google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・活動を振り返り、発表することができる。	(予習)発表資料を作り、発表準備を行う。 (復習)他者の活動報告からの学びをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522131B	エクスターンⅡ(小)	高田由基・中野真悟		専門	1	選択	2後期

## 科目の概要

こどもの生活学科の目標である「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材」となる「よき教育者の育成」及びDP1に記載してある建学の精神と社会人基礎力、2の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能を修得した教師の育成を目指して行う。教育職としての専門性を高めるために、実践的な活動を通して様々な体験を積むプログラムで、本科目では大学近隣の提携小学校へ教育ボランティアとして出向き、現場体験を積む。

学修内容	到達目標
① 自身の進路を明確にする。 ② 実践活動のための目標を考える。 ③ 実践活動のための計画を立てる。 ④ 実践活動の振り返りを行う。	① 学校の教育活動についての知識を修得し、自身の進路を具体的にイメージすることができる。 ② 実践活動のための目標を活動場面に合わせて設定できる。 ③ 実践活動のための計画を実際の活動場面に即して立案できる。 ④ 実践活動を振り返り、より良き実践を行うための課題解決の方法を具体的に述べるができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践活動で成果を上げるために、計画に沿った行動をとることができる。
考え抜く力	課題発見力	教育や保育に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。
チームで働く力	発信力	実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文章で記述することができる。
	傾聴力	他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：使用せず

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：

小学校教員免許状取得に必要となる「介護等体験実習」など各種実習の前段階として、教師等の補助的役割を通し子どもとの関わりの実際を体験していく。本授業は、その後に履修する「エクスターンⅡ」や以後の教職関係の科目や免許状取得に必要な実習へと繋がっていく。

資格との関連：幼稚園教諭、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
現場に出向いての活動なので、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、途中で投げ出すと協力していただいている学校・園に多大なご迷惑をおかけすることになるので、そのようなことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先でのルールは絶対遵守すること。</li> <li>・活動報告を毎回提出すること。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント							
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
				③								
				④								
	平常評価	小テスト		0	①							
					②							
					③							
					④							
		レポート		80	①	✓					<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の進路に対する考えを、記述することができる。</li> <li>エクスターンにて何を習得したいかを記述できる。</li> <li>エクスターンでの目標に対する計画を構成し、記述できる。</li> <li>活動報告書を作成し、毎回提出することができる。</li> </ul>	
					②	✓						
					③	✓						
					④	✓						
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓				<ul style="list-style-type: none"> <li>エクスターンシップ実習で学んだことやこれから教師を目指すうえでの課題をまとめ、発表できる。</li> </ul>		
					②	✓						
					③	✓						
					④	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性) 到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。</li> <li>(実行力) 実践活動で成果を上げるために、計画にそった行動をとることができる。</li> <li>(課題発見力) 教育や保育の現場に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。</li> <li>(創造力) 固定概念に捉われないこと、多角的・多面的に考えることができる。</li> <li>(発信力) 実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文字にして記述することができる。</li> <li>(傾聴力) 他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べることができる。</li> <li>(規律性) 円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。</li> </ul>				
			②	✓								
			③	✓								
			④	✓								
総合評価割合		100										

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>学外活動の意義を理解し、自分を磨く意識を持って、積極的に活動し、現場の理解を深めることができた。</li> <li>計画・企画を進んで行うことができ、実践に生かすことができた。</li> <li>上記2点において、秀でた活動を行った場合にはS(秀)評価とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のすべき行動を理解して、活動を行うことができた。</li> <li>活動計画や活動のための提案することができた。</li> <li>与えられた任務を問題なくこなすことができた。</li> <li>上記の内容まで到達していない、又は提出物の遅れC(可)とする。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	【初等教育コース】 ・エクスターンシップ 実習の意義について学ぶ。 ・実習先の小学校について調べる。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 講義：学校という教育現場 2. 演習、発表：本授業の受講動機や教職志望の理由、本授業で学びたいことの発表。	実習校の情報を収集し、目的を明らかにすることができる。	(予習) 希望する活動をj確認する。  (復習) 活動報告を作成し、口頭で担当教員に伝える準備をする。	180	主体性 実行力 規律性
2	【初等教育コース】 ・実習先の小学校について調べる。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 講義：学校における教育活動 2. 演習、発表：エクスターンシップ実習の目標や計画を立案して発表	実習校の情報を収集し、事前オリエンテーションに向く準備をすることができる。	(予習) 実習校の位置や教育環境を調べる。  (復習) 調査票をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、打ち合わせをする。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 講義・演習：実習校の実際、実習に当たったての留意事項の講話。校舎見学、授業参観。	事前オリエンテーションの調整をし、実習校での留意事項等をまとめることができる。	(予習) 実習校の教育活動について調べる。  (復習) 調査票をまとめる。事前オリエンテーションの内容をまとめる。(Google Classroomドキュメントに提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	【初等教育コース】 ・実習先の小学校に向向き、学校ごとの活動に参加する。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。  (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	【初等教育コース】 ・活動報告書のまとめをする。 (高田1/2・宮武1/2)	1. 演習：活動報告書及び発表用スライドの作成。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理することができる。	(予習) 活動報告書の整理をする。  (復習) 口頭で活動報告ができるように準備をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	【初等教育コース】 ・活動から感じたことをまとめ、将来の夢に繋がる事柄を見出す。 (高田1/2・宮武1/2)	オンデマンド	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理し、自身の将来の進路の方針を立てることができる。	(予習) 活動報告書の整理をする。  (復習) 活動報告書及び他者の発表内容をまとめ、Google Classroomに提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力